

事務事業名		道路橋りょう管理事務費					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	管理係	担当課長名	青木茂良	
	施策	1 都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 計画的な幹線道路ネットワークの整備					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10870	一般	8	2	1	道路橋りょう管理事務費					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	実施方法		一部委託			
						事業分類		施設維持管理事業(市主体)			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
市道及び認定外道路の管理に要する施設等の維持管理費を賄う。	<ul style="list-style-type: none"> ・詰所、重車両倉庫等維持管理費 燃料費、電気料、水道料、修繕費、電話代、建物損害共済保険 ・現業職被服購入費 ・法定外公共物管理 消耗品費、測量業務委託、システム保守委託、システム借上、土地借上 ・違法放置車 処理手数料 						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	市道等の延長	km	1,152	1,153	1,153	1,153	1,153

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市道及び認定外道路の管理に要する施設等	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	施設数	箇所	2	2	2	2	2
	システム数	式	1	1	1	1	1

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

適切に維持管理をする。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	市民等からの道路修繕依頼数	件	1,640	1,572	1,572	1,572	1,572

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市道等の管理に要する施設等を適切に管理することは、幹線道路を維持管理することに必要であり、道路を維持管理することで市民の円滑な移動が図ることができる。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	幹線道路の整備率	%	66.0	66.0	66.0	66.0	66.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	90	105	98	98	98			
	一般財源	千円	1,713	1,487	3,433	3,433	3,433			
	事業費計(A)	千円	1,803	1,592	3,531	3,531	3,531			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			需用費	167	需用費	207	需用費	236	需用費	236
			役務費	35	役務費	36	役務費	76	役務費	76
委託料			1,349	委託料	1,231	委託料	3,095	委託料	3,095	
使用料・賃借料			116	使用料・賃借料	118	使用料・賃借料	124	使用料・賃借料	124	
負担金			136							
人件費	人	7	7	7	7	7				
のべ業務時間	時間	800	800	800	800	800				
人件費計(B)	千円	3,113	3,153	3,153	3,153	3,153				
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,916	4,745	6,684	6,684	6,684				

事務事業名	道路橋りょう管理事務費	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課	担当係	管理係
-------	-------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	不明
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	法定外公共物の権限移譲により、測量調査費が増加傾向にある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市道及び法定外公共物の維持管理は、施策に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	公共財産の管理は管理者である市の義務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	道路管理に必要な施設と法定外公共物の測量調査であるため、対象と意図を見直す必要はない。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	必要最小限の費用で効率的に行っているため、これ以上成果向上は望めない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	施設の修繕料や法定公共物の測量委託料が増加傾向にあり、事業費を削減する余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	所有者・管理者の義務として必要な経費であり、受益者負担を見直す必要がない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	市道、認定外道路がなくなった時。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			